

暖かい日差しに包まれ、春の美しい花も咲き始めた今日この頃、私たち117名は無事、東京都立富士高等学校の入学式を迎えることができました。本日は私たち新入生のためにこのような素晴らしい式を執り行っていただき誠にありがとうございます。

中学校の卒業式から約一か月が経とうとしています。

思い返せば三年前の春、私たちはこの体育館で入学式を行いました。緊張と不安のなか、隣に座っていた高校生の先輩方の落ち着いた頼もしい背中を見て、その姿にあこがれたことを今でもよく覚えています。あれから三年、富士は文部科学省からスーパーサイエンスハイスクールの認定を受け、中学校でも探究活動が始まり、仲間達と共に支え合いながら学びを続けてきました。晴れて高校生になった私たちですが、先輩方のような頼もしい背中を今日この場にいる中学1年生の皆さんに見せることができているならば、とてもうれしく思います。

さて、私たち117名は中学校生活の中で多くのことを学びました。その中の1つが、よりよい学校生活を送るために、自分たちで考え行動することの大切さです。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、残念ながら中学校生活の大半は入学前に思い描いていた生活を送ることはできませんでした。しかし、その状況下だからこそ、視点を変えて行動することの大切さを学ぶことができました。

高校は、自主性と責任が求められる場所でもあります。私は高校生だという自覚を持ちつつ、今まで以上にお互いに支え合いながら学校生活を送っていきたいです。富士の「自主自律」「文武両道」の精神の下、教育目標である「知性を高め、教養を深める」「品性を養い、感性を磨く」「自ら判断し挑戦する精神を高める」という3つの柱を念頭におき、行事だけでなく、部活動や普段の授業など、自主性をもって取り組んでいきたいと思えます。しかし、このさき自分一人では乗り越えられない壁もあるかもしれません。そのような時は、もう高校生だからと気を負いすぎず、友人と支え合いながらその壁を乗り越えていきたいです。当たり前のことの本当の価値と大切さを再認識し、あっという間に過ぎてしまうであろう三年間を、一日一日悔いのないよう大切に過ごしていきたいです。

同級生の皆さん、改めてこれから3年間よろしく申し上げます。

最後に、校長先生をはじめ、先生方、先輩方、そしていつも私たちを理解し支えてくれる保護者の皆様など、多くの方への感謝の気持ちを忘れずに、伝統ある富士高校で学業に邁進することを誓い、新入生代表挨拶とさせていただきます。

令和四年度四月七日

高校新入生代表